

現代の経済 小テスト 第1回

2010/06/09 (水) 4限
講義担当者 居城琢

36

小テスト 1回目

学籍番号	名前
------	----

問1 GDPに含まれるものに○、含まれないものに×をつけなさい。

- A 外国で働いて得た所得 B 古本屋での本の購入 C 原材料の購入額
D 主婦の家事労働 E 中古住宅の購入

答え A (X) B (X) C (○) D (X) E (○)

問2 国内総支出 (GDE) の式を埋めなさい。(出来るだけ漢字で! アルファベットの場合は記号の意味する項目を添えて書いてください。)

Y = a

答え 消費 + 投資 + 政府購入 + 純輸出

問3 名目 GDP と実質 GDP の違いについて説明しなさい。また、通常 GDP 成長率と呼ぶとき、どちらを使うかを答えなさい。

実質値では、モノ・サービスの量を物量から内題でモン、
名目値では、それを金に換算したところになるからというところがゆえ。
通常実質GDPを使う。

例、1年前にあるモノ・サービスの付加価値の名目値が100円だったとし、
現在の名目値が120円だったとすると、GDPは20%成長したことになる。
しかし、その時期に物価が20%上昇していたとすると、実質値は
 $120 \div 1.2 = 100$ のまま。

現代の経済 小テスト 第1回

2010/06/09 (水) 4限
講義担当者 居城琢

問4 次の文章中の空欄 a ~ c に当てはまる語句として最も適当な語句を下の①～⑨の中からそれぞれ選びなさい。また、d には適当な数を入れなさい。

新規の住宅購入は、GDEの式では a に含まれる。

国内総生産 (GDP) と国内純生産 (NDP) の違いは、GDP の中に b が含まれるかどうかである。

在庫 (売れ残り) は、意図した売れ残りと意図していない売れ残りに区分されるが、GDEの式で言う c に含まれる。

2004 年末に cosole store では在庫が 100 万円分あったが、2005 年末では在庫が 30 万円になっていた。この場合 GDE の式で言う在庫 c は、d になる。

- ① 消費 ② 投資 ③ 営業余剰 ④ 輸入 ⑤ 固定資本減耗
⑥ 雇用者所得 ⑦ 輸出 ⑧ フロー ⑨ ストック

a 答え (2) b 答え (5) c 答え (2)
d 答え (-70) 万円

問5 Big Mac1 個の値段はアメリカで 2.80 ドルであったとする。同じ Big Mac1 個が中国のマクドナルドでは 10.5 元であった。

- (1) この Big Mac1 個 10.5 元を為替レート (1 ドル = 6.84 元) を使ってドル表示に直しなさい。(小数点第 2 位まででよい ○. ○○ドルというように)

答え 1.54 ドル

$$10.5 \times \frac{1}{6.84} =$$
$$\begin{array}{r} 6.84 \overline{) 10.50} \\ \underline{6.84} \\ 3660 \\ \underline{3420} \\ 2400 \\ \underline{2052} \\ 3680 \end{array}$$

現代の経済 小テスト 第1回

2010/06/09 (水) 4限
講義担当者 居城琢

- (2) (1) の結果から、現在の中国元は、ドルに対して過大評価であると言えるか？過小評価と言えるか？理由をつけて答えなさい。

~~過大評価~~
~~同じ品目の中国の価格は安い、つまり中国元のほうが価値が低いことになる。~~
同じ品目をアメリカでは2.80ドル、中国では1.51ドルで買えることから、
購買力評価説によれば、同一の品目は、(2)の価格差つくはかであるが、この場合そうではない。
それは中国元が為替レートにおいて、ドルに対して過大評価になっているからである。

問6 今経済が、消費と投資と政府購入でなりなっているとする。消費関数が $C = 30$ 兆円 $+ 0.3Y$ で与えられており、投資が 5 兆円、政府購入が 10 兆円とすると国民所得 Y はいくらか？ $Y = \frac{1}{1-0.3} \times (30+5+10) = \frac{1}{0.7} \times 45 = 64.28$

$$Y = 30 + 0.3Y + 5 + 10$$

$$\therefore Y = \frac{45}{0.7} = 64.28$$

$$\begin{array}{r} 6.428 \\ 7 \overline{) 45.00} \\ \underline{42} \\ 30 \\ \underline{28} \\ 20 \\ \underline{14} \\ 6 \end{array}$$

答え

64.3 兆円

~~0.64~~

問7 乗数効果による「漏れ」について説明しなさい。

$$Y = \frac{1}{1-0.8 \times 50\%}$$

この50兆円は、乗数効果のための引当金である。
限界消費傾向が大まければ大まかいほど、この乗数効果は大になるという点。

需要の増大により、生産は増えたが、その需要の一部輸入品に向かったため、
乗数効果が「漏れた」といえる。

所得増大により、新たに購入される財は、

問8 失業には、失業には、需要の不足から発生するものと、それ以外の要因によるものがある。それぞれについて説明し、近年の日本ではどのタイプの失業が問題になっているのか述べなさい。

前者は、好況の時には減り、不況の時には増加するという意味で、循環的失業と呼ばれる。
後者は摩擦的失業と構造的失業の2種類がある。

△摩擦的失業は労働者の移動を妨げる障害や、市場に属する知識・情報が不完全であることによる。

△構造的失業は労働力需要構造と労働供給構造のミスマッチによる。

日本の失業は、技術革新や産業構造の変化などに対応できず、構造的失業の存在が上げられている。

この授業に関して、ご意見 ご感想、ご要望があればご自由にお書きください。

レジュメに書いてあることをPPTで映すと補足してほしい。

ノートに書いたレジュメにあったということが多々ある。